

# 姫路市(近畿ブロック)

【計画期間 平成27年4月～32年3月】

- ・ 戦国時代には、姫路城の城下町として栄え発展の基礎を築く
- ・ 戦後にかけて、戦災からの復興、臨海部での工業地帯の形成などにより、播磨地域の中核都市として発展する。
- ・ 人口534,813人、面積534.43km<sup>2</sup>(平成26年11月現在)

## 【前計画の概要】

○ 中心市街地の顔とも言える姫路城大天守保存修理工事ならびに姫路駅周辺整備事業などの大規模なハード事業を実施し、城と駅を核としたまちの魅力向上による「にぎわい」の創出と「活力」の増大を目指す。(21年12月～27年3月)

## 【中心市街地の変化】

○ 姫路城大天守保存修理工事等の影響による観光客の大幅な減少、駅周辺整備による街なかへのアクセス阻害などにより、歩行者通行量は減少する。

○ 駅周辺の商店街と比較して、駅から離れた商店街で空き店舗が増加するなど、来街者を街なかへ誘引できていない。

○ 駅周辺整備をきっかけに、市民(利用者)レベルで街なかの活性化を考える自主的な取り組みが見受けられる。



## 【目指す中心市街地像】

姫路駅周辺整備をはじめ、姫路城大天守保存修理工事が完成を迎えるこの機会に、駅前広場等で始動した官民連携による公共空間の利活用やまちづくりへの取り組みを街なか全体に拡大することで、多くの人々が暮らし、国内外の人々が訪れ、多様な目的で集い、楽しく歩くことができるまちづくりを進める。

## 【前計画の目標指標】

| 目標              | 指標         | 基準値(H19) | 目標値(H25) | 最新値(H25) |
|-----------------|------------|----------|----------|----------|
| 人々が訪れ、集い、回遊するまち | 歩行者・自転車通行量 | 74,635人  | 85,800人  | 50,937人  |
|                 | 空き店舗数      | 40店舗     | 30店舗     | 36店舗     |
| 人々が暮らしたくなるまち    | 居住者数       | 8,341人   | 8,656人   | 8,797人   |

## 【新計画の目標指標】

| 目標                         | 指標                          | 基準値                 | 目標値(H31)  |
|----------------------------|-----------------------------|---------------------|-----------|
| 新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加 | 歩行者・自転車通行量                  | 63,639人/日(H22～25平均) | 82,000人/日 |
| 新陳代謝の促進による街なか(商店街)の活性化     | 空き店舗数                       | 36店舗(H25)           | 28店舗      |
| 多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上      | 居住者数                        | 8,797人(H25)         | 8,894人    |
| 市民が躍動できる仕組み・体制の構築          | 公共空間利活用のルールのもとで行われるイベント実施日数 | 286日/年(H25.9～H26.8) | 321日/年    |
| 上記の4指標の補完指標                | 中心市街地に対する市民の評価              | 42.7%(H26)          | 50.0%     |

行きたい城下(まち)  
～国内外の人々が訪れるまちづくり～

### 【主要事業】

- ・ 大手前通り(十二所前線以北)再整備事業
- ・ キャスティ21コアゾーン整備事業(A～Cブロック)

など

にぎわう城下(まち)  
～人々が集い、回遊するまちづくり～

### 【主要事業】

- ・ 中心市街地商店街空き店舗対策事業
- ・ 街なか起業家支援事業

など

住みたい城下(まち)  
～人々が暮らしたくなるまちづくり～

### 【主要事業】

- ・ キャスティ21イベントゾーン整備事業
- ・ 駅南土地区画整理事業(姫路駅南西地区)

など

市民が主役の城下(まち)  
～市民が躍動できるまちづくり～

### 【主要事業】

- ・ タウン・エリアマネジメントを視野に入れた仕組み・体制づくり
- ・ 姫路駅北駅前広場活用事業

など

# 姫路市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 行きたい城下(まち)

～国内外の人々が訪れるまちづくり～

### ①大手前通り(十二所前線以北)再整備事業

姫路駅と姫路城を結ぶ姫路市のシンボルロードである大手前通りについて、高質空間を形成する再整備を行う。

### ②キャストィ21コアゾーン整備事業 (A～Bブロック)

キャストィ21コアゾーン内に都市型ホテルやシネマコンプレックスなどの高次都市機能を有する施設を整備する。



## 住みたい城下(まち)

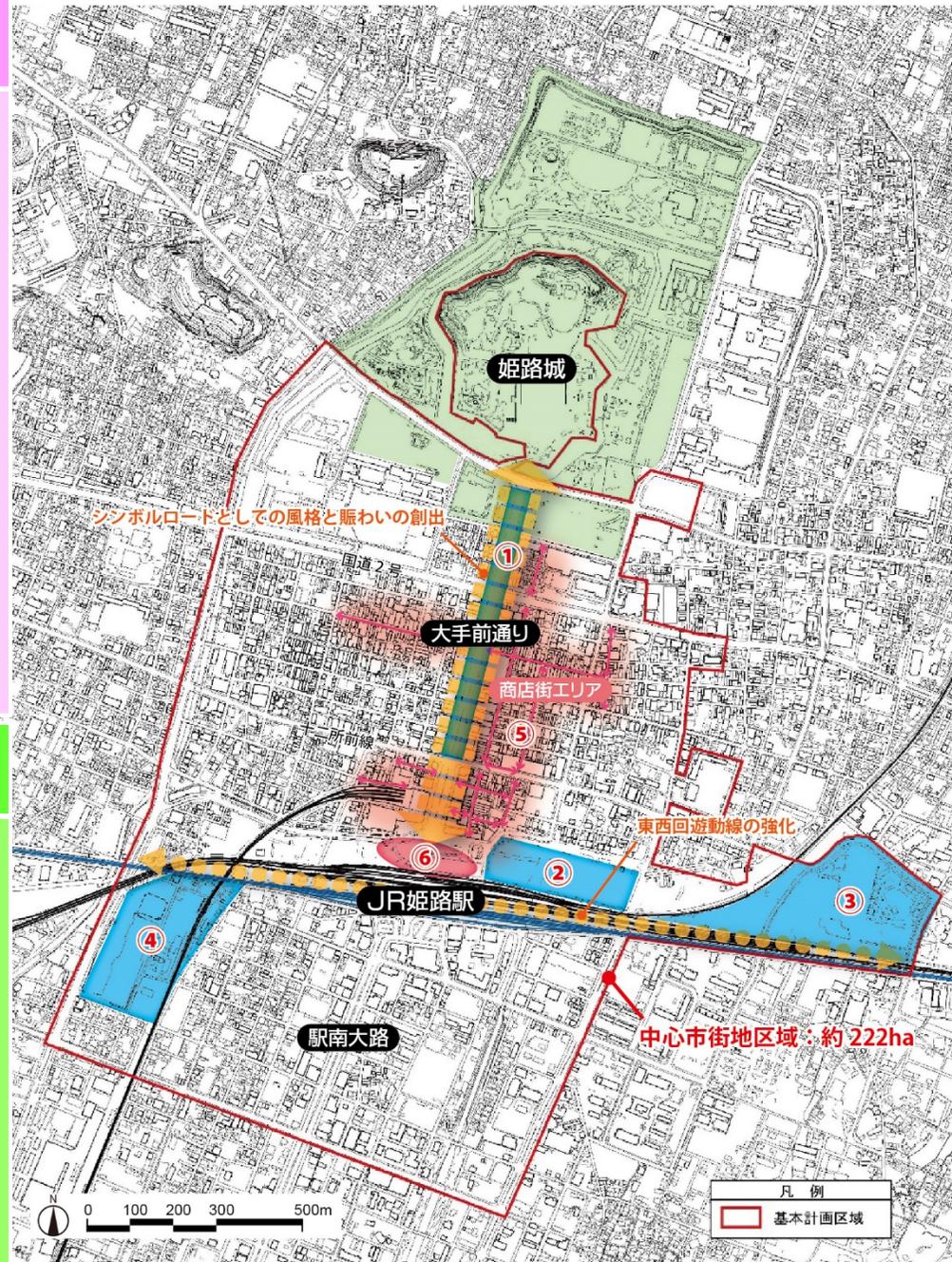
～人々が暮らしたくなるまちづくり～

### ③キャストィ21イベントゾーン整備事業

姫路駅の東西に広がる新しい人の流れを創出する文化・交流施設、コンベンション・展示施設、高等教育施設等の整備を行う。

### ④駅南地区土地区画整理事業 (姫路駅南西地区)

姫路駅の南西に位置する工場跡地での区画整理を施行することにより、都市基盤施設の整備改善を行う。



## にぎわう城下(まち)

～人々が集い、回遊するまちづくり～

### ⑤中心市街地商店街空き店舗対策事業

空き店舗への出店に対する家賃補助等の支援とともに、テナントミックスなどによる必要な業種・業態の適正配置により、新たな魅力ある店舗等の出店を促進する。

### ○街なか起業家支援事業

街なか活性化に意欲のある起業家への支援を行い、中心市街地エリア内の新陳代謝を促進する。

## 市民が主役の城下(まち)

～市民が躍動できるまちづくり～

### ○タウン・エリアマネジメントを視野に入れた仕組み・体制づくり

利用者(市民)目線による自主的なまちづくりの推進を目指すため、タウン・エリアマネジメントの運営に向けた組織・人材育成を推進する。



### ⑥姫路駅北駅前広場活用事業

「チャレンジ駅前おもてなし」社会実験を踏まえ、姫路駅北駅前広場において、継続的に市民が積極的に関与するイベントを開催する。